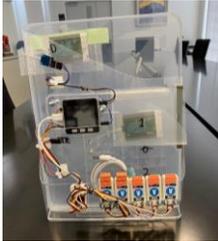




各部署の取り組み報告

部署	報告内容
製造部	<p>【課題：人材育成を見据えた、加工データの収集と見える化】</p> <p>今月の活動成果 加工データ収集のための装置のテストとして、設備からの信号を受信できるか、Wi-Fiのノイズ状況を確認しました。</p> <p>今後の取り組み 設計製作と連携し、試作品を現在の半分A5サイズに縮小した上で11月中に初号機の運用を開始予定です。現在は情報収集に関する課題と今後のタスクを明確化している段階です。 設備稼働率と作業者の消化工数をタイムリーかつ正確につかむことを目指し、具体的な改善につなげるための指標作りに活かします。</p>  <p>↑テストを行ったA4サイズの試作品</p>
生産統括部	<p>【課題①：RPAの取り組みを生産統括部内に展開】 【課題②：従来からの手書き&入力作業の撤廃】</p> <p>今月の活動成果 ①仕入れ先毎の納期状況を把握するための入荷状況のチェック作業（1日15分程度の作業）を自動化したことで、指定納期状況確認後のアクションに移るまでの動きが効率化されました。 ②成果創出に向けて、エクセル帳票の作成など仕組み作りを行い、関係部門へと展開しました。</p> <p>今後の取り組み 作業の効率化による、残業時間の削減や高付加価値作業への切り替えを目指していきます。</p>
総務課	<p>【課題：小さな改善にチャレンジしつつ、新たなテーマを検討していく】</p> <p>今月の活動成果 食事注文データの自動集計を実施する取り組みは、トラブルやイレギュラー発生時の対応に苦戦しています。新たなテーマとして、電気使用量の確認と部課長への配信作業の自動化に取り組んでいます。</p> <p>今後の取り組み 食事注文データの自動集計、電気使用量の確認・配信作業の自動化のどちらかの達成に向けて取り組みます。</p>
営業課	<p>【課題①：工作カードの保管をQRコードを活用した電子管理】 【課題②：見積引合票の電子承認導入】</p> <p>今月の活動成果 ①工作カードの保管運用したところ、ムリ・ムダを大きく解消できました。 ②電子承認制に移行したことで、担当者不在時にも決裁が可能になり、見積もり提出期間の短縮が実現しました。</p> <p>今後の取り組み ①工作カードの保管段階から、他のデータとの連携を目指します。 ②電子承認のルール化や各種不具合の対策を行います。</p>